

第7回 テーマ毎CPD啓発講座(講演・見学会)報告

公益社団法人日本技術士会茨城県支部では、第7回 テーマ毎CPD啓発講座として、『放射線や原子力に関する基礎知識の普及事業を学ぶ』をテーマに講演と原子力科学館の見学を実施した。茨城県内の技術士の他、遠く神奈川県横浜市からの参加もあり、会員22名が参加し、講演後の質問応答では活発な意見交換が行われ、講演と見学会を盛況裡に実施できた。

記

1. 日 時： 2015年12月5日(土) 13:30～15:30
2. 場 所： 公益社団法人茨城原子力協議会 原子力科学館〒319-1112 茨城県茨城郡東海村村松 225-2、電話番号 029-282-3111
3. 講 演： 公益社団法人茨城原子力協議会の別館ホール
4. 見学会： 原子力科学館本館および別館の展示室
5. 参加者： 22名(会員)



原子力科学館前の集合写真

I. 講演会:

1. 講演者： 公益社団法人茨城原子力協議会 常務理事(原子力科学館館長)
山田広次氏
2. 演 題： 『茨城原子力協議会における展示館運営と普及啓発活動について』
3. 要 旨：

公益社団法人茨城原子力協議会が取り組んでいる展示館の運営と普及啓発活動などについて説明があった。

放射線教育関連事業では原子力教員セミナーとして、県内の小・中・高等学校、特別支援学校の教員向けに平成9年から平成27年の間に4701人に対し、講演および関連施設の見学会を通じて、原子力および放射線に関する正しい知識の普及啓発活動を継続実

施しているとの説明があった。

また、小・中・高等学校等への出前授業では、「やさしい放射線の話」や「霧箱」の制作などを通じて、放射線の基礎知識の習得と、併せて子供の「科学する心」を醸成していることが強調された。



ご講演中の山田常務理事

4. 質疑応答：

参加者からは、「茨城県以外の県との交流を図っているのか」などの活発な質問があり、山田常務理事からご回答をいただいた。



ご講演後の質疑応答

Ⅱ. 見学会：

1. 原子力科学館の展示室：

科学館では、入り口の左側に2015年のノーベル賞を受賞した梶田さんについて展示されていた。奥に入ると東海村地区の空間放射量がリアルタイムに表示されており、生活において問題がないことを示していた。

左奥に進み、国内最大の「霧の箱」で α 線、 β 線、宇宙線の流れを見ることができ、放射線がどこにでもあることを知ることができる。

さらに奥に進み、放射線の単位であるベクレル、シーベル、グレイの違いを判りやすく説明しており、一番奥には約2000年前に自然界で持続核分裂を起こした痕跡を残す石が展示されており非常に興味深い。

そのほか、大洗臨海鉄道を模型したジオラマによる放射線の強さの違いや、元素記号を代表的な製品や物質に置き換えた表示板などがあり、小学4年生以上の理科教育に役立つ展示内容である。

2. 別館の展示室：

別館では、陽電子の放射を利用した医療診断機器であるPET、癌の患部にピンポイントで陽子線を照射することができ人の延命に貢献している陽子線医療機器、JCO事故の時間経過と事故発生となった混合槽のレプリカの展示、J-PARCの敷地図形、放射線を利用した製品などの展示を説明員からの説明を受けながら見る事ができた。



説明を受けながらの別館内の見学

Ⅲ. 講演会・見学会後の感想：

本講演では、継続した普及啓発活動に尊敬の念を抱いた。また小・中・高等学校などへの出前授業では、放射線の基礎知識の習得と併せて、子供に「科学する心」を持って貰えるように日々努力されていることを実感した。

見学会では、参加者からの感想として、是非また来てみたい、あるいは子供を連れてきて見させてあげたいなどの意見が多々あった。

本講演会および見学会が盛況に実施できたのは、公益社団法人茨城原子力協議会の事務局長若山良典様はじめ、関係者様のご厚意によるものであり、厚く御礼申し上げます。

茨城県支部 研修委員会
小林 守(記事)